

令和 7 年度 開催要綱

富山県保育所(園)・認定こども園リーダー研修会

～保育・教育の質の向上のために～

1. 趣 旨

近年、子どもや子育てを取り巻く環境が変化し、保育所(園)・認定こども園に求められる役割も多様化・複雑化する中で、現場リーダーである保育所(園)・認定こども園の長には、より高度な専門性が求められるようになっていきます。

本研修は、「制度や政策の動向」「こども理解」「アタッチメント」をテーマに、現場リーダーとして子どもや保護者、地域ニーズに対応していくため、保育現場に求められることが今後どのように変わるのか理解を深め、さらなる教育・保育の質の向上に寄与することを目的に開催します。

2. 主 催

富山県保育連絡協議会

※本研修は、富山県保育連絡協議会が富山県から「施設型給付費等に係る処遇改善加算Ⅱに係る研修の実施主体認定」を受けて行います。

3. 共 催

富山県、富山県民間保育連盟、富山県保育士会

4. 後 援

富山市、社会福祉法人富山県社会福祉協議会

5. 日 時

令和 7 年 1 2 月 1 6 日(火) 午前 10 時 50 分～午後 4 時 40 分
1 7 日(水) 午前 10 時 00 分～午後 12 時 30 分

6. 会 場

富山県総合福祉会館(サンシップとやま) 6階研修室
〒930-0094 富山市安住町 5-21 TEL. 076-432-6141

7. 参加対象者 80名程度

- (1) 保育所(園)・認定こども園の所長・園長またはそれに準ずる者
- (2) 中核リーダー及び専門リーダー、若手リーダー
- (3) 県及び市町村保育行政関係者
- (4) その他保育に関係のある者

8. 参 加 費

会員 15,000円(1名)昼食代(12月16日)込み
非会員 20,000円(1名)昼食代(12月16日)込み

9. 日 程

【12月16日(火)】

10：20～10：50	受付
10：50～11：00	開会・挨拶
11：00～12：30	講義1「認定こども園をめぐる動向と課題」 ～質の充実と経営の安定に向けて～ (株)保育システム研究所 代表取締役 吉田 正幸 氏
12：30～13：30	昼食休憩
13：30～14：10	講義2「こどもまんなか保育とは」～アタッチメントの視点から～ 第1部 保育S○Wラボ 代表 非営利団体コドモノミカタ 代表理事 井桁 容子 氏
14：10～15：10	講義3「こどもまんなか保育とは」～アタッチメントの視点から～ 第2部 東京大学大学院教育学研究科 教授 遠藤 利彦 氏
15：10～15：20	休憩
15：20～16：40	対談 「こどもまんなか保育とは」～アタッチメントの視点から～ 東京大学大学院教育学研究科 教授 遠藤 利彦 氏 保育S○Wラボ 代表 非営利団体コドモノミカタ 代表理事 井桁 容子 氏

【12月17日(水)】

9：30～10：00	受付
10：00～11：30	講義4「こども誰でも通園制度の意義を考える」 ～実践事例をもとに～ 東京家政大学 児童学部 児童学科 教授 堀 科 氏
11：30～11：40	休憩
11：40～12：30	講義5 行政説明 厚生部こども家庭室子育て支援課
12：30～	閉会挨拶・アンケート記入

10. 参加申込

(1) 参加希望者は、下記専用サイトよりお申込みください。

申し込み受付期間：令和7年11月17日(月)～令和7年12月5日(金)

【参加申込 URL】 <https://www.mwt-mice.com/events/management-toyama2025/login>

QRコード



(2) 参加費の支払いについては、「名鉄観光サービス(株)富山支店」より申込完了後に送信されるメールの手順に従って、指定の振込み口座へ送金ください。(振込手数料は振込者負担)

11. 修了書の交付【中核リーダー及び専門リーダー、若手リーダー該当者】

全ての日程を受講した研修修了者には、修了証の交付を予定しています。

本研修は、施設型給付費等に係る処遇改善加算Ⅱに係る研修として実施するため、修了証の交付にあたっては、研修修了者の名簿(1※)を作成します。なお、研修修了者について、富山県、県内各市町村、及び他都道府県から照会がある場合、修了者の名簿記載情報を提供することがありますので、予めご了解願います。

(1) ※名簿記載事項：①保育士登録番号(受講希望者が保育士の場合に限る。) ②氏名・生年月日・住所 ③勤務先施設の名称・所在市町村名(現に保育所等に勤務している者に限る。)

④修了した研修分野 ⑤修了証番号 ⑥修了年月日

なお、虚偽又は不正の事実に基づいて修了証の交付を受けた場合等においては、研修の修了を取り消すことになります。

(2) 研修会参加にあたっては、名簿作成に必要な、①保育士登録番号(受講希望者が保育士の場合に限る。) ②氏名・生年月日・住所の提出をお願いします。

12. その他

会場の駐車場には限りがありますので、公共交通機関の利用にご協力ください。

13. 個人情報の取り扱い

参加申込書に記載された情報は、研修会の運営・管理の目的に限って使用し、本会「個人情報保護要領」に基づいて適切に取り扱います。

なお、申込受付等に関する業務を名鉄観光サービス(株)富山支店に委託し実施するため、情報を共有します。

14. 問合せ先

【研修会に関して】

富山県保育連絡協議会

〒930-0094 富山市安住町5-21

富山県総合福祉会館(サンシップとやま)2階

TEL. 076-431-6727/FAX. 076-432-6064

(対応時間：月火木金 9:30～15:30)

E-mail: hoikukyo@room.ocn.ne.jp ホームページ <https://toyama-hokyo.jp/>

【参加申込に関して】

名鉄観光サービス(株)富山支店

〒930-0004 富山市桜橋通り1-18 北日本桜橋ビル5F

TEL. 076-431-8056/FAX. 076-431-2056

＊ ＊ ＊ 講師紹介 ＊ ＊ ＊

講義 1

(株)保育システム研究所 代表取締役 吉田 正幸（よしだ まさゆき） 氏

主な経歴

1957 年 4 月生まれ。福岡市出身。大阪大学人間科学部卒業。

保育専門誌「遊育」代表取締役兼発行人、大妻女子大学大学院非常勤講師（保育マネジメント特論）。これまで、文部・厚生両省の総合施設に関する合同検討会議委員、文部科学省「新しい幼児教育の在り方に関する調査研究」企画評価会議委員、内閣府認定こども園制度の在り方に関する検討会委員等を歴任。現在、厚生労働省子ども・子育て支援推進調査研究事業企画評価委員、内閣府子ども・子育て支援システム標準化検討会座長等のほか、自治体の子ども・子育て会議で委員長等複数努める。NHK「クローズアップ現代」「ナビゲーション」「視点・論点」のゲスト解説等に出演。

主な著書 「選ばれる園になるために～変革のビジョンと実践」（世界文化社、2013）「認定こども園の未来～保育の新たな地平へ」（フレーベル館、2016）など

講義 2・3

東京大学大学院教育学研究科 教授 遠藤 利彦（えんどう としひこ） 氏

主な経歴

東京大学大学院教育学研究科 教授、博士（心理学）

聖心女子大学文学部専任講師、九州大学大学院人間環境学研究院助教授、京都大学大学院教育学研究科准教授などを経て、2013 年から現職。

専門は発達心理学・感情心理学。主たる研究テーマは親子関係・家族関係と子どもの社会情緒的発達。NHK 子育て番組「すくすく子育て」にも出演。

主な著書『安心感がこどもの心を育む』（小学館、2025）『心を育み発達を支える：保育におけるアタッチメント』（チャイルド本社、2025）『アタッチメントがわかる本：「愛着」が心の力を育む』（講談社、2022）『入門 アタッチメント理論——臨床・実践への架け橋』（日本評論社、2021）

『赤ちゃんの発達とアタッチメント：乳児保育で大切にしたいこと』（ひとなる書房、2017）他

保育 S o W ラボ 代表 非営利団体コドモノミカタ 代表理事 井桁 容子（いげた ようこ） 氏

主な経歴

1976 年 4 月から 2018 年 3 月まで保育実践研究施設の東京家政大学ナースリールームに 42 年間勤務し、東京家政大学非常勤講師も務め、保育の実践及び保育者養成に関わりながら研究に従事。

2018 年 4 月よりフリーとなり乳幼児教育実践研究家として、任意団体「保育 SoW (Sense of wonder) ラボ」代表・「非営利団体コドモノミカタ」代表理事、「保育の根っこを考える会」主宰などを務める。

2024 年 5 月より日本保育学会評議員。

保育実践の場から抽出した子どもの本質、質の高い保育の在り方について数多くの実践研究や講演、保育・子育て関係著書多数を執筆。また保育コンサルティング、ワークショップ、メディアにおいては、NHKE テレ「すくすく子育て」、子ども向け番組の監修、そのほか保育 DVD 制作、子どもと大人向け音楽 CD プロデュースするなど、日本の子どもが置かれる環境の質の底上げのために幅広く活動中。

2020 年 11 月に育児雑誌編集長が選ぶ『第 13 回ペアレンティングアワード』の文化人部門を受賞。

講義 4

東京家政大学 児童学部 児童学科 教授 堀 科（ほり しな） 氏

主な経歴

大妻女子大学大学院家政学研究科博士後期課程修了。

宇都宮短期大学で専任講師を務めたのち、川口短期大学准教授を経て現職。

専門は保育学、乳児保育、保育臨床。

現在、こども家庭庁こども誰でも通園制度に関する検討会委員、厚生労働省地域における保育所・保育士の在り方に関する検討委員など複数努める。

近年の主な著書 『幼保連携型認定こども園における園児が心を寄せる環境の構成』（フレーベル館、2022）『人口減少時代に向けた保育所・認定こども園・幼稚園の子育て支援：地域とともに歩む 22 の実践例』（中央法規出版、2023 年）他